

■はじめに

愛媛県人口ビジョンによると、愛媛県の人口は1985年の約153万人をピークに減少局面に入り、2040年には107万人にまで減少すると推計されています。また、人口移動をみると、大学などを卒業して就職する人が多い20～24歳の年齢層について、近年は平均1,600人程度の転出超過になっています。

地方には無限に資源があり発展の可能性を秘めている一方、人口減少、少子高齢化などの進展で人手不足が社会問題化し、この停滞感を破ってくれるような若者の斬新な視点が求められているのもまた事実です。

このような中、大学は、学生・留学生・研究者など多種多様な人材(財)が集まる場で、豊富なマンパワーにあふれています。また、若者をはじめとした人材(財)を活用することで、地域が抱える諸課題の解決に繋がる可能性は非常に大きいと考えられます。

そこで、今回の特集では、大学生が実践している地域活性化に向けた様々な取り組みをご紹介します。次代を担う若者たちの活動が今後更に広がっていくことを期待しています。

(主任研究員 坂本 清幸)

■表紙のことは

学生時代に会った“まち”の風景を何かの機会にふと思い出すことはないですか？それは、通学途中の商店街かもしれないし、お祭りの会場かもしれませんね。

誰しも、記憶の片隅にはそんな思い出の“まち”の風景があるのではないのでしょうか。もしその風景がなくなってしまうことを考えると、とても寂しく感じます。

今、地方は若者が減って“まち”に元気がなくなった、将来消滅するかもと言われたりしています。でも、地域を盛り上げるために頑張っている若者、それを応援する大人はたくさんいます。

これからも、ふと思い出す“まち”の風景がなくならないように、若者と大人が協力しながら、各地で“まち”づくりが続いていくことを願っています。

柳原あや子



●アングル

「地元学」から地域活動への展開

笠松 浩樹/愛媛大学社会共創学部 特任講師

1

●特集/大学生による地域活性化 ～大学生が地域を守り、変えていく～

①地域情報誌「やないすと」の制作

～大学生が地域の魅力を発信！～

愛媛大学法文学部 やないすと編集部

4

②活躍できる場所

菊池 友孝/NPO法人松山大学学生地域創造研究所Muse 事務局長

6

③香川大学生がつかなく地域の笑顔

～和cafeぐうの経営を拠点に～

嶋田 梨沙/香川大学直島地域活性化プロジェクト

8

④「河和田アートキャンプ」に見る、大学生と地域の関わり方

西馬 晋也/河和田アートキャンプ事務局

10

⑤若い力が若い力を育て、好循環で地域を創る

～元気あふれる、たのしい、たくましい人材によるまちづくり～

柿本 和彦/NPOおのみち寺子屋 理事長

12

●地域おこし協力隊 リレーレポート

現役大学生が地域おこし協力隊になって

大塚 陸人/松野町 地域おこし協力隊

14

●移住コンシェルジュ通信

みかんに特化した大学サークル、東大みかん愛好会の試み

板垣 義男/えひめ移住コンシェルジュ

16

●特選ブログ/shin 1さんの日記

地方創生と大学生による地域の活性化

若松 進一/人間牧場主・年輪塾々長

18

●“MY TOWN” うおつちんぐ

学び舎、はじめて物語

岡崎 直司/タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー

20

●地域づくり人養成講座報告

マラソンマインドでマネジメント

岩佐 千恵/砥部町地域振興課

22

●えひめ地域づくりアワード・ユース2017

最優秀賞、優秀賞の紹介

河田 晋作/えひめ地域政策研究センター 研究員

新居浜南高等学校「ユネスコ部」

今治西高等学校「海外研究部」

三崎高等学校「三崎たいせつ隊」

24

●市町振興協会事業案内

平成30年度事業のあらまし

公益財団法人 愛媛県市町振興協会

28

●Information センターからのお知らせ

「えひめイベントBOX2018」発刊のお知らせ

平成30年度地域づくりコーディネーター派遣事業の募集

平成30年度まちづくり活動アシスト事業の募集